

秋田県森林審議会 議事録要旨

【日 時】 平成28年12月26日（月）午後1時30分から3時30分

【場 所】 ルポールみずほ 2階 「ききょう」

【出席者】 虻川委員、網委員、猪股委員、加藤委員、兼子委員、熊谷委員、
佐々木委員、佐藤（篤）委員、佐藤（重）委員、佐藤（俊）委員、瀬戸委員、
高橋委員、蒔田委員、谷川原委員
（事務局） 眞城森林技監、小川次長、佐藤林業木材産業課長、
高松森林整備課長、ほか関係職員

【審議会の概要】

1 開 会

2 あいさつ 眞城森林技監

3 議 事

（1）議案第1号 森林審議会会長の選出について

秋田県森林組合連合会代表理事会長の佐藤重芳委員が会長に選出された。

（2）議案第2号 米代川地域森林計画の変更について

（3）議案第3号 雄物川地域森林計画の変更について

（4）議案第4号 子吉川地域森林計画の変更について

事務局より説明を行い、質疑応答の結果、「適当と認める」旨を知事あてに答申することが決定された。

なお、主な質疑事項は次のとおり。

○ニホンジカの日撃が増えており、今後、農林業への被害が懸念される。自然保護分野の担当と、農林業分野の担当と連携をとって、速やかに対応できる体制を整えていただきたい。

→今回、鳥獣による森林被害が予想される森林を「鳥獣害防止森林区域」として設定するための指針を示した。市町村が区域を設定し、適切な森林の育成や捕獲等による鳥獣害防止対策を推進する。また、ニホンジカの保護及び管理に関する計画である「秋田県第二種特定鳥獣管理計画」の策定に向け、現在、パブリックコメントを行っている。今後とも、自然保護分野と連絡を密にとりながら、被害防止に努めていく。

○「木材製品の高付加価値化」について、具体的に教えていただきたい。

→木材製品の高付加価値化とは品質・性能が一定水準確保されている製品を確実に生産していこうというもの。具体には、乾燥等の品質・性能が確保された製品を生産する体制や、CLT等の新たな部材の開発等の取り組みを行っている。

○「皆伐後、確実に再造林をすることが必要」とあるが、今後の伐採のピークに合わせ、コンテナ苗の生産の計画があるのか。低コスト造林の現状を教えて欲しい。

→民有林では約1,000ha伐採され、植栽による再造林等は、約2割前後と推計している。この2割の植栽を5割まで持っていきたい。現在、県内でコンテナ苗は約18万本生産されているが、平成32年頃までに、4倍の約80万本弱まで伸ばしていきたいと考えている。伐採と造林の一貫作業システムと合わせて、コンテナ苗を活用し、今後、低コスト造林を進めていきたい。

4 閉 会